

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年3月11日

事業所名:ジュニアスペース・らいぶ守山

区分	チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標、工夫している点
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6		法令を順守し、十分なスペースを確保しています。児童が過ごしやすい環境を考え個別対応や年齢に応じたスペースの使用を行っています。
	2 職員の配置数は適切であるか	5	1	法令で必要とされる加配数に加え、1名以上の児童指導員を加配しています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6		入口トイレ等基本バリアフリー設計となっております。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6		定期的ミーティングを行って、コンサルタントとの研修を実施しているがパートナー職員の参画・情報の共有が課題。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1	今回のアンケートを基に職員間で話し合い計画に繋げていく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6		一年に一度必ず掲載している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6		以後検討致します。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		社内研修を定期的実施している他、外部研修の機会も確保し、資質の向上を目指しております。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6		保護者様からのアンケートやご意見を伺い、ミーティングなどで職員間で情報を共有し、個別支援計画に繋ぎ込んでいる。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6		独自で準備した自立課題なども用いて実施しております。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		社員全員でプログラムを共有している。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		毎月活動予定を計画しマンネリ化しないように考えている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6		休日(祝・土)長期休暇など、イベントを実施し児童が楽しめるものを考え支援に繋げている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6		個別に考え、児童一人一人の計画書を作成している。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		支援前に朝礼を行い、その日来所の不穏児童や支援内容についての対策や声掛けについて情報共有しているが役割分担が上手くいかない時もある。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6		毎日必ず行っているが次の支援に上手く繋がっていない場合がある。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		記録の記載について全体に周知が足りないと感じる場面もある。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6		安定して過ごせていない児童に関して職員間で定期的にモニタリングを行い計画作成について見直している。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	1	内容が多いので組み合わせができていないかどうかが考えるが、保護者様のニーズを基に組み合わせている。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標、工夫している点
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6		管理者及び児発管が参加している。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6		保護者様や学校との連携を常に意識して情報を共有しているが、伝達が上手くいかないこともあるので注意していきたい。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6		医療的ケアが必要な児童はいないが個別の緊急対応については保護者様と情報共有を行っている。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1	保護者様を通じて情報共有しているがコロナ禍のため直接の対応には努められていない。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	2	必要となった場合保護者様の了解を得て、適切に対応していきます。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6		案内頂いた分や必要な研修については参加している。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	5	現在のところそういった機会はありません。今後コロナウイルス終息次第実施したいと考えています。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	1	できる限り参加している。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		日々の支援については送迎時に保護者様に伝えるようにしている。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6		柔軟に対応が必要となるので保護者様の話を傾聴した上で、慎重に行っている。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		契約時に説明を行っている。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		その都度、保護者様の相談に寄り添っている。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	4	現在は感染拡大防止対策として、三密を発生しうる場面は避けさせて頂いております。コロナウイルス終息後改めて検討していきます
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		保護者様の不安な案件があればその都度対応している。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		毎月の行事予定(プログラム)は保護者様に発信している。
	35 個人情報に十分注意しているか	5	1	鍵付きの書庫に保管し個人情報については十分に注意している。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		保護者様との出会いの機会がある度に伝達を行っている。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3	十分に実施できていない。今後の課題である。

区分	チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標、工夫している点
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6		契約時に保護者様には説明を行い職員にはMTGなどの機会に共有している。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		年に二回行っている。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		年に一回の研修を受け、職員にフィードバックを行っている。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6		サービス計画への記載はしていませんが、保護者様にはご契約時に丁寧な説明をさせて頂いております。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6		現在はアレルギーの強い児童はいないがフェイスシートなどで情報共有を行い対応している。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1	現在ヒヤリハットの報告書はないが、それに繋がるかもしれない事案については共有している。